

# 数学

## <全体分析>

試験時間	60分	解答問題数	3題
------	-----	-------	----

### 解答形式

記述式

### 分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

### 出題の特徴や昨年との変更点

標準的な問題が出題の中心である。

### その他トピックス

3（1）の答が1通りには決まらない。

整数問題が多い。確率、図形の問題が出題されなかった。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	微分法 積分法	数学Ⅱ	放物線の接線 放物線と直線で囲まれた図形の面積 (1/6公式)	標準
2	数と式 整数	数学Ⅰ 数学A	不定方程式、因数分解 整数解	標準
3	高次方程式 整数	数学Ⅱ 数学A	3次方程式、3乗根	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

例年、基本レベルから標準レベルの出題であるから、標準的な問題集で演習するとよい。  
今年は数学Bからの出題がなかったが、数年単位でみると数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bの全分野から出題されているので、本年度の出題分野に限定せず、すべての分野で基本から標準までしっかりとした準備をしておきたい。  
60分という比較的短い試験時間を考えると、日頃の演習で思考力とともに計算力も養っておこう。